



雇用を生み出す移住支援



移住決断やその後の定住の決め手になるのは「仕事」です。本市では、移住・定住サポートセンターに雇用コーディネーターを配置して、ハローワークの求人情報を基に就職支援などを行っていて、令和5年度は114件、令和6年度は80件の新たな雇用が生まれています。

今回は、働き手が不足する中で、移住者を積極的に採用する市内事業者の声を聞きました。



移住支援で広がる新しい未来

丸宮建設株式会社
代表取締役 河野 一治さん

長年、社員の高齢化や人手不足が課題で、求人を出しても反応がない時期が続く中、県外で経験を積んだ息子と娘がUターンで戻ってきたことが転機となりました。2人を中心に、古い制度の見直しや、完全週休二日制の導入、デジタル化による業務改善などを進めた結果、社内の雰囲気が大きく変わりました。

採用方法の見直しや情報発信にも力を入れ、市の移住支援制度が大きな後押しになり、1年半で24人（うち移住者10人）の採用に成功し、会社の中核となる30代・40代も大幅に増えました。この制度のおかげで、都市部で経験を積んだ優秀な人材を呼び込むことができたと思います。彼らは、それぞれが培ってきた知識や経験を持ち込み、会社全体に活力をもたらしてくれています。このような変化が地域に広がると、都城全体の元気にもつながるのではないのでしょうか。今後もこの移住支援制度を継続してもらうことで、都城市に暮らす私たちみんなの未来が明るいものになることを願っています。



多彩な経験からの発想が大きな戦力に

持永木材株式会社
総務部室長 切畑 良朗さん

製材業を営む弊社では、CADオペレーターなどの専門職や機械操作の資格職の人材不足が課題でした。地元で就職する学生も減る中で希望を見出したのは、即戦力で定着率も高いUターン採用。市の移住支援策と弊社の採用活動がマッチし、2年半で23人の移住者雇用につながりました。配偶者の地元である都城に、家族でUターンしたという社員も多くいます。

今年は人事評価制度を大きく見直し、社員の頑張りを定期昇給で適正に反映する仕組みを構築。関西出身の社員が新たな視点のアイデアを出して活躍するなど、長く地元に住む私たちでは思いつかない発想や柔軟性を持つ移住者は貴重な存在になっています。

今後も、市には移住支援を継続して、市外からの人材の入り口を確保してもらうことを期待しています。そして、雇用した社員たちが働き続けたいと思える職場をつくるのは私たちの役目。これからも会社一丸となって、働きやすい環境づくりを追求していきます。

地元へのUターンを 応援します！



市では、人口戦略の一環として、移住する人を対象とした支援を実施しています。

本支援が、故郷や家族の元を離れて暮らす人の「慣れ親しんだふるさと都城へ帰って暮らしたい」、「新たな人生のステージを地元で始めたい」といった声を力強く後押しして、「将来の夢」だった地元へのUターンを多くの人が実現。「都会に出ていた子ども夫婦が孫と一緒に都城に帰ってきた」などという喜びの声も多くいただいています。

帰省する家族や友人・知人に会える年末年始の機会に、本市の移住推進の取り組みをぜひ紹介ください。

◎問い合わせ

移住・定住サポートセンター

☎ 23-2542

安心の相談体制

移住を検討している人の相談を専門に行う「移住・定住サポートセンター」では、移住に関するあらゆる相談にスタッフが対応しています。また、相談者に合った仕事探しをお手伝いする雇用コーディネーターが、地元企業とのマッチングを通じて、求職活動から面接、就職までを

継続的にサポート。一人一人の相談に丁寧に対応し、移住を検討している皆さんの不安や疑問を解消していきます。

遠方からの相談もOK

同センターでは、窓口での相談対応のほか、遠方の移住検討者が気軽に相談できるよう、電話やメールはもちろん、LINEやウェブ会議システム「Zoom」を使用したオンライン相談も実施しています。さまざまな方法で気軽に相談ができるため、移住に向けた準備を万全に整えることができます。



Web相談
予約ページ

充実の移住支援策

移住前に、住まいや仕事探しのために本市を訪れる人を対象に、宿泊費やレンタカー利用料の一部を助成する「お試し滞在制度」が利用できます。車の運転に不慣れな人には、移住後のペーパードライバー講習費用一部助成制度もあります。

移住・定住支援策について詳しくは、特設サイト「住めば住むほど都城」を確認ください。

